

平成24年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	新潟県		市町村類型	政令指定都市	指定団体等の指定状況		区分		平成24年度(千円)	平成23年度(千円)	区分		平成24年度(千円・%)	平成23年度(千円・%)																																																																																																																																																																											
					財政健全化等	×	歳入総額	357,696,041			363,813,235	実質収支比率			1.1	1.8																																																																																																																																																																									
市町村名	新潟市		地方交付税種地	1-7	財源超過	×	歳出総額	353,289,431	356,484,048	経常収支比率	91.2	88.8	(102.3)	(99.4)																																																																																																																																																																											
					首都	×	歳入歳出差引	4,406,610	7,329,187	(※1)																																																																																																																																																																															
					近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	2,379,129	3,948,358	標準財政規模	188,311,371	189,036,089																																																																																																																																																																													
					中部	×	実質収支	2,027,481	3,380,829	財政力指数	0.70	0.69																																																																																																																																																																													
人口	22年国調(人)	811,901	産業構造(※5)		単年度収支	×	単年度収支	-1,353,348	1,786,321	公債費負担比率	17.2	16.6																																																																																																																																																																													
	17年国調(人)	813,847			過疎	×	積立金	5,244	5,420	健全化判断比率																																																																																																																																																																															
	増減率(%)	-0.2			山振	○	繰上償還金	-	160	実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																																													
住民基本台帳人口(※7)	25.03.31(人)	805,767	区分	22年国調	17年国調	低開発	×	積立金取崩し額	-	-	連結実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																																												
	うち日本人(人)	801,403		第1次	13,846	18,695	指数表選定	○	実質単年度収支	-1,348,104	1,791,901	実質公債費比率	11.3	10.8																																																																																																																																																																											
	24.03.31(人)	802,778	第2次	3.7	4.7			基準財政収入額	97,333,133	97,629,123	資金不足比率(※4)																																																																																																																																																																														
	うち日本人(人)	802,778		82,451	92,421			基準財政需要額	135,842,199	137,916,317																																																																																																																																																																															
	増減率(%)	0.4	第3次	22.2	23.1			標準税収入額等	125,891,249	126,251,155																																																																																																																																																																															
	うち日本人(%)	-0.2		275,014	283,044			経常経費充当一般財源等	176,593,995	172,654,578																																																																																																																																																																															
面積(km ²)	726.10		74.1	70.8			歳入一般財源等	215,094,378	213,201,111																																																																																																																																																																																
人口密度(人/km ²)	1,118																																																																																																																																																																																								
世帯数(世帯)	312,533																																																																																																																																																																																								
職員の状況																																																																																																																																																																																									
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	473,272,085	443,165,460																																																																																																																																																																														
	市区町村長	1	11,630		一般職員	5,397	17,804,703	3,299	うち公的資金	168,789,740	170,941,612																																																																																																																																																																														
	副市区町村長	3	9,390		うち消防職員	910	3,023,930	3,323	債務負担行為額(支出予定額)	89,062,430	84,753,948																																																																																																																																																																														
	教育長	1	8,170		うち技能労務職員	664	2,207,136	3,324	収益事業収入	1,520,787	1,638,388																																																																																																																																																																														
	議会議長	1	7,780		教育公務員	213	842,967	3,958	土地開発基金現在高	7,650,000	7,650,000																																																																																																																																																																														
	議会副議長	1	7,000		臨時職員	-	-	-	財政調整基金	15,893,399	15,888,155																																																																																																																																																																														
	議会議員	54	6,530		合計	5,610	18,647,670	3,324	積立金現在高	4,002,682	5,000,208																																																																																																																																																																														
					ラスバイレス指数(※6)		107.3	(99.2)		減債基金	5,987,208	7,161,336																																																																																																																																																																													
										その他特定目的基金																																																																																																																																																																															
	<table border="0"> <tr> <td>一般会計等の一覧</td> <td>事業会計の一覧</td> <td>公営企業(法適)の一覧</td> <td>公営企業(法非適)の一覧</td> <td>関係する一部事務組合等一覧</td> <td>地方公社・第三セクター等一覧</td> </tr> <tr> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>組合等名</td> <td>項番</td> <td>団体名</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(※3)</td> </tr> <tr> <td>(1) 一般会計</td> <td></td> <td>(5) 国民健康保険事業会計</td> <td></td> <td>(8) 水道事業会計</td> <td></td> <td>(11) 中央卸売市場事業会計</td> <td></td> <td>(13) さくら福祉保健事務組合(一般会計分)</td> <td></td> <td>(23) 公益財団法人新潟市国際交流協会</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) 公債管理事業会計</td> <td></td> <td>(6) 介護保険事業会計</td> <td></td> <td>(9) 病院事業会計</td> <td></td> <td>(12) と畜場事業会計</td> <td></td> <td>(14) さくら福祉保健事務組合(病院分)</td> <td></td> <td>(24) 公益財団法人新潟市芸術文化振興財団</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(3) 母子寡婦福祉資金貸付事業会計</td> <td></td> <td>(7) 後期高齢者医療事業会計</td> <td></td> <td>(10) 下水道事業会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(15) 下越障害福祉事務組合</td> <td></td> <td>(25) 公益財団法人會津八一記念館</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(4) 土地取得事業会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(16) 新潟県中東福祉事務組合</td> <td></td> <td>(26) 公益財団法人新潟市産業振興財団</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(17) 西蒲原福祉事務組合(一般・急患分)</td> <td></td> <td>(27) 公益財団法人新潟観光コンベンション協会</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(18) 三条・燕・西蒲・南蒲広域養護老人ホーム施設組合</td> <td></td> <td>(28) 公益財団法人新潟市勤労者福祉サービスセンター</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(19) 豊栄郷清掃施設処理組合</td> <td></td> <td>(29) 公益財団法人新潟ミートプラント</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(20) 阿賀北広域組合</td> <td></td> <td>(30) 公益財団法人新潟県環境保全事業団</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(21) 新潟県後期高齢者医療広域連合(一般会計)</td> <td></td> <td>(31) 公益財団法人新潟市体育協会</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(22) 新潟県後期高齢者医療広域連合(後期高齢会計)</td> <td></td> <td>(32) 財団法人新潟水道サービス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>															一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名							(※3)	(1) 一般会計		(5) 国民健康保険事業会計		(8) 水道事業会計		(11) 中央卸売市場事業会計		(13) さくら福祉保健事務組合(一般会計分)		(23) 公益財団法人新潟市国際交流協会					(2) 公債管理事業会計		(6) 介護保険事業会計		(9) 病院事業会計		(12) と畜場事業会計		(14) さくら福祉保健事務組合(病院分)		(24) 公益財団法人新潟市芸術文化振興財団					(3) 母子寡婦福祉資金貸付事業会計		(7) 後期高齢者医療事業会計		(10) 下水道事業会計				(15) 下越障害福祉事務組合		(25) 公益財団法人會津八一記念館					(4) 土地取得事業会計								(16) 新潟県中東福祉事務組合		(26) 公益財団法人新潟市産業振興財団													(17) 西蒲原福祉事務組合(一般・急患分)		(27) 公益財団法人新潟観光コンベンション協会													(18) 三条・燕・西蒲・南蒲広域養護老人ホーム施設組合		(28) 公益財団法人新潟市勤労者福祉サービスセンター													(19) 豊栄郷清掃施設処理組合		(29) 公益財団法人新潟ミートプラント													(20) 阿賀北広域組合		(30) 公益財団法人新潟県環境保全事業団													(21) 新潟県後期高齢者医療広域連合(一般会計)		(31) 公益財団法人新潟市体育協会													(22) 新潟県後期高齢者医療広域連合(後期高齢会計)		(32) 財団法人新潟水道サービス			
一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧																																																																																																																																																																																				
項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名							(※3)																																																																																																																																																																											
(1) 一般会計		(5) 国民健康保険事業会計		(8) 水道事業会計		(11) 中央卸売市場事業会計		(13) さくら福祉保健事務組合(一般会計分)		(23) 公益財団法人新潟市国際交流協会																																																																																																																																																																															
(2) 公債管理事業会計		(6) 介護保険事業会計		(9) 病院事業会計		(12) と畜場事業会計		(14) さくら福祉保健事務組合(病院分)		(24) 公益財団法人新潟市芸術文化振興財団																																																																																																																																																																															
(3) 母子寡婦福祉資金貸付事業会計		(7) 後期高齢者医療事業会計		(10) 下水道事業会計				(15) 下越障害福祉事務組合		(25) 公益財団法人會津八一記念館																																																																																																																																																																															
(4) 土地取得事業会計								(16) 新潟県中東福祉事務組合		(26) 公益財団法人新潟市産業振興財団																																																																																																																																																																															
								(17) 西蒲原福祉事務組合(一般・急患分)		(27) 公益財団法人新潟観光コンベンション協会																																																																																																																																																																															
								(18) 三条・燕・西蒲・南蒲広域養護老人ホーム施設組合		(28) 公益財団法人新潟市勤労者福祉サービスセンター																																																																																																																																																																															
								(19) 豊栄郷清掃施設処理組合		(29) 公益財団法人新潟ミートプラント																																																																																																																																																																															
								(20) 阿賀北広域組合		(30) 公益財団法人新潟県環境保全事業団																																																																																																																																																																															
								(21) 新潟県後期高齢者医療広域連合(一般会計)		(31) 公益財団法人新潟市体育協会																																																																																																																																																																															
								(22) 新潟県後期高齢者医療広域連合(後期高齢会計)		(32) 財団法人新潟水道サービス																																																																																																																																																																															

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補償(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補償等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
 ※6: ラスバイレス指数の()内の数値は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定特例法による措置が無いとした場合の値である。
 ※7: 住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。

(1) 普通会計の状況 (市町村)

歳入の状況 (単位 千円・%)					地方税の状況 (単位 千円・%)					歳出の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
地方税	118,174,981	33.0	110,454,463	64.0	普通税	106,004,783	89.7	1,573,386	議会費	1,148,862	0.3	-	1,148,836	
地方譲与税	3,588,760	1.0	3,588,760	2.1	法定普通税	106,004,783	89.7	1,573,386	総務費	24,645,005	7.0	1,840,939	18,135,599	
利子割交付金	296,513	0.1	296,513	0.2	市町村民税	51,547,525	43.6	1,573,386	民生費	107,921,836	30.5	5,443,239	57,721,120	
配当割交付金	177,151	0.0	177,151	0.1	個人均等割	1,162,037	1.0	-	衛生費	28,585,058	8.1	2,412,278	21,814,477	
株式等譲渡所得割交付金	43,461	0.0	43,461	0.0	所得割	37,963,783	32.1	-	労働費	1,887,721	0.5	-	631,844	
地方消費税交付金	7,968,778	2.2	7,968,778	4.6	法人均等割	2,678,119	2.3	-	農林水産業費	8,623,909	2.4	3,435,029	4,763,521	
ゴルフ場利用税交付金	22,986	0.0	22,986	0.0	法人税割	9,743,586	8.2	1,573,386	商工費	20,206,891	5.7	-	3,974,506	
特別地方消費税交付金	151	0.0	151	0.0	固定資産税	47,508,947	40.2	-	土木費	68,807,730	19.5	29,431,670	31,407,672	
自動車取得税交付金	917,691	0.3	917,691	0.5	うち純固定資産税	47,234,889	40.0	-	消防費	10,206,104	2.9	1,206,648	9,038,155	
軽油引取税交付金	5,556,398	1.6	5,556,398	3.2	軽自動車税	1,394,701	1.2	-	教育費	43,008,401	12.2	18,306,762	25,002,407	
地方特例交付金	460,795	0.1	460,795	0.3	市町村たばこ税	5,416,899	4.6	-	災害復旧費	225,542	0.1	-	21,692	
地方交付税	45,454,328	12.7	41,390,817	24.0	鉱産税	136,700	0.1	-	公債費	38,022,372	10.8	-	37,027,939	
普通交付税	41,390,817	11.6	41,390,817	24.0	特別土地保有税	11	0.0	-	諸支出費	-	-	-	-	
特別交付税	3,733,848	1.0	-	-	法定外普通税	-	-	-	前年度繰上充用金	-	-	-	-	
震災復興特別交付税	329,663	0.1	-	-	目的税	12,170,198	10.3	-	歳出合計	353,289,431	100.0	63,724,468	210,687,768	
(一般財源計)	182,661,993	51.1	170,877,964	99.0	法定目的税	12,170,198	10.3	-						
交通安全対策特別交付金	344,464	0.1	344,464	0.2	入湯税	20,997	0.0	-						
分担金・負担金	3,688,044	1.0	-	-	事業所税	4,428,683	3.7	-						
使用料	6,528,682	1.8	1,175,828	0.7	都市計画税	7,720,518	6.5	-						
手数料	2,833,007	0.8	-	-	水利地益税等	-	-	-						
国庫支出金	46,205,965	12.9	-	-	法定外目的税	-	-	-						
国有提供交付金(特別区財調交付金)	9,990	0.0	9,990	0.0	旧法による税	-	-	-						
都道府県支出金	12,337,809	3.4	-	-	合計	118,174,981	100.0	1,573,386						
財産収入	510,523	0.1	208,876	0.1										
寄附金	432,561	0.1	-	-										
繰入金	2,530,066	0.7	-	-										
繰越金	7,329,187	2.0	-	-										
諸収入	30,694,750	8.6	-	-										
地方債	61,589,000	17.2	-	-										
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-										
うち臨時財政対策債	21,029,300	5.9	-	-										
歳入合計	357,696,041	100.0	172,617,122	100.0										

区分	平成24年度	平成23年度
徴収率 現・計 (%)	98.9	95.3
市町村民税	99.1	95.6
純固定資産税	98.6	94.2

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	40,889,715	実質収支	1,895,522
下水道	13,911,126	再差引収支	-446,324
病院	2,751,303	加入世帯数(世帯)	114,559
上水道	693,982	被保険者数(人)	196,648
市場	652,286	被保険者 { 保険税(料)収入額 国庫支出金 保険給付費	91
国民健康保険	5,902,427		94
その他	16,978,591		276

区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	155,009,042	43.9	107,951,481	103,717,223	53.6
人件費	52,911,405	15.0	45,565,574	43,918,661	22.7
うち職員給	35,140,996	9.9	32,387,754	-	-
扶助費	64,197,303	18.2	25,480,006	22,892,661	11.8
公債費	37,900,334	10.7	36,905,901	36,905,901	19.1
元利償還金	37,900,334	10.7	36,905,901	36,905,901	19.1
内 うち元金	31,482,375	8.9	30,487,942	30,487,942	15.7
内 うち利子	6,417,959	1.8	6,417,959	6,417,959	3.3
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	134,330,379	38.0	92,343,018	72,876,772	37.6
物件費	42,443,917	12.0	33,945,696	25,085,190	13.0
維持補修費	7,352,723	2.1	6,927,678	6,592,728	3.4
補助費等	32,670,852	9.2	30,590,570	23,068,351	11.9
うち一部事務組合負担金	1,446,547	0.4	939,896	898,643	0.5
繰出金	23,533,304	6.7	20,747,992	18,130,503	9.4
積立金	363,340	0.1	1,869	-	-
投資・出資金・貸付金	27,966,243	7.9	129,213	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	63,950,010	18.1	10,393,269	-	-
うち人件費	922,198	0.3	921,663	-	-
普通建設事業費	63,724,468	18.0	10,371,577	-	-
うち補助	25,217,722	7.1	832,756	-	-
うち単独	35,162,107	10.0	9,422,721	-	-
災害復旧事業費	225,542	0.1	21,692	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	353,289,431	100.0	210,687,768	-	-

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成24年度 新潟県新潟市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	357,517	353,301	4,216	1,837	2,532	473,426	
2 公債管理事業会計	42,585	42,585	-	-	37,891	-	
3 母子寡婦福祉資金貸付事業会計	681	491	190	190	78	2,135	
4 土地取得事業会計	3	3	-	0	-	-	
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238	</						

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成24年度

新潟県新潟市

人口	805,767人	(H25.3.31現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	801,403人	(H25.3.31現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	726.10	km ²	実質公債費比率	11.3%
歳入総額	357,696,041	千円	将来負担比率	113.5%
歳出総額	353,289,431	千円		
実質収支	2,027,481	千円	市町村類型	H20 政令市 H21 政令市 H22 政令市
標準財政規模	188,311,371	千円	(年度毎)	H23 政令市 H24 政令市
地方債現在高	473,272,085	千円		

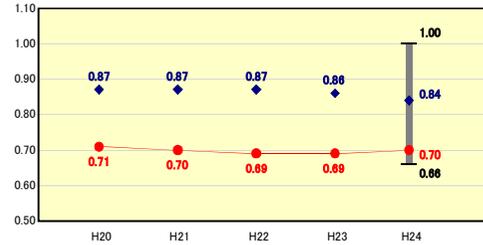
● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と呼ぶ。
※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。
※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
※住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。

財政力

財政力指数 **[0.70]**

類似団体内順位 17/20 全国平均 0.49 新潟県平均 0.51

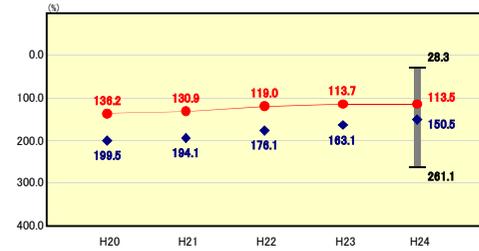


財政力指数の分析欄
前年度比で0.1良化しているものの、類似団体と比較しても0.14下回っている。今後も「新潟市行政改革プラン2013」に基づく歳入の確保や歳出の削減に努めるとともに、雇用の確保、拠点性の強化、交流人口の拡大などによる税収基盤の強化に取り組んでいく。

将来負担の状況

将来負担比率 **[113.5%]**

類似団体内順位 9/20 全国平均 60.0 新潟県平均 109.1

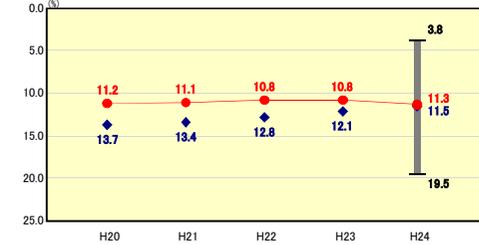


将来負担比率の分析欄
職員数の削減に伴う退職手当負担見込額の減少や企業会計などの公債費に対する繰出金が減少する見込みとなったこと、福祉施設などの建設補助に対する債務負担行為が減少したものの、一般会計等の公債費が増加したことにより、前年度と比較して0.2ポイント悪化した。しかし、類似団体と比較しても低い水準となっている。
今後、社会福祉関係経費や合併建設計画をはじめとする社会資本整備の推進など多くの財政需要が見込まれるが、指標の動向を注視しながら、引き続き適正な財政運営に努める。

公債費負担の状況

実質公債費比率 **[11.3%]**

類似団体内順位 10/20 全国平均 9.2 新潟県平均 13.2

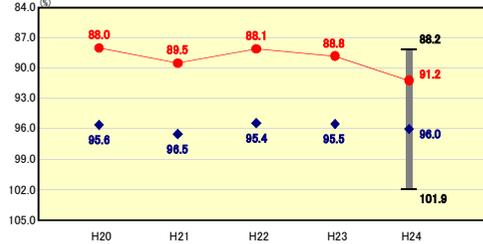


実質公債費比率の分析欄
類似団体平均を下回っているものの、合併建設計画に伴う合併特別債などの発行により、元利償還金が増加することが見込まれることから、今後は新規発行額を抑制し、実質公債費比率の上昇を抑えるよう努める。

財政構造の弾力性

経常収支比率 **[91.2%]**

類似団体内順位 4/20 全国平均 90.7 新潟県平均 88.8

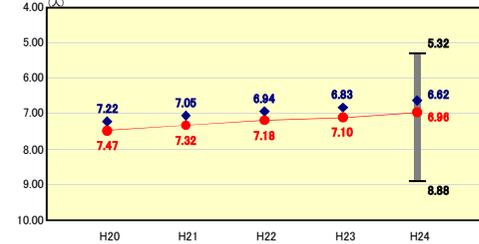


経常収支比率の分析欄
歳入においては、前年度と比較すると地方譲与税が4.0%、普通地方交付税が1.7%減、市税が0.3%、臨時財政対策債が1.6%増、総額で0.4%の減となった。
一方、歳出では生活保護費や私立保育園委託など扶助費が5.1%の増、公債費が4.0%増、介護保険事業会計など特別会計への繰出金が3.6%の増となり総額で2.3%の増加となった。
類似団体平均を下回っているが、前年と比較して2.4%悪化したことから、引き続き積極的な行財政改革に努める。

定員管理の状況

人口千人当たり職員数 **[6.96人]**

類似団体内順位 15/20 全国平均 7.00 新潟県平均 8.56

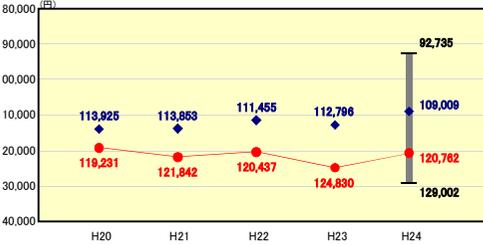


人口千人当たり職員数の分析欄
公立保育園を多く設置していること、耕地面積が広く農業部門に多くの職員を配置していることなどから、類似団体との比較で平均を上回っている状況となっている。
平成17年度から平成21年度の第2次定員適正化計画全体では、普通会計で500人の削減を目標としていたが、実績で505人の削減となった。
平成22年度から平成24年度までは新・定員配置計画に基づき、3年間で300人の削減を目標にしていたが、実績で273人の削減となった。
平成25年度からは、前計画の未達成分を含めた新たな2か年計画を策定し、引き続き定員の適正化に努めていく。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 **[120,762円]**

類似団体内順位 18/20 全国平均 116,454 新潟県平均 142,734

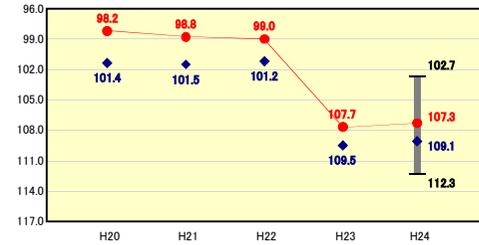


人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄
物件費としては、新規施設等管理運営費が増加しているが、職員数の削減など人件費は減少している。結果として前年度に比べ減少しているものの、依然として類似団体平均を上回っていることから、今後さらなる行財政改革への取り組みを強化し、事務事業の見直しを図るなど経費節減に努める。

給与水準(国との比較)

ラスパイルズ指数 **[107.3]**

類似団体内順位 4/20 全国市平均 108.6 全国町村平均 103.2



ラスパイルズ指数の分析欄
国の給与削減により相対的に上昇しているが、指数は類似団体でも下位にある。今後もより一層給与の適正化に努める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成24年度

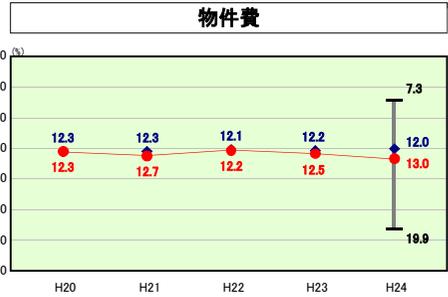
新潟県新潟市

経常収支比率の分析

人口	805,767人	(H25.3.31現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	801,403人	(H25.3.31現在)	運実赤字比率	-%
面積	726.10	km ²	実質公債費比率	11.3%
歳入総額	357,696,041	千円	実質負担比率	113.5%
歳出総額	353,289,431	千円	市町村類型	H20 政令市 H21 政令市 H22 政令市
実収支	2,027,481	千円	(年度毎)	H23 政令市 H24 政令市
標準財政規模	188,311,371	千円		



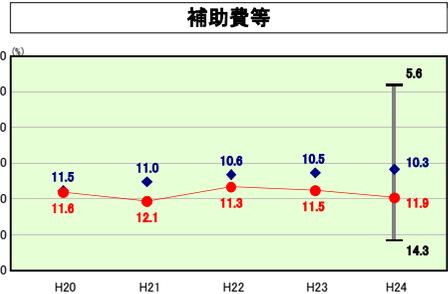
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。



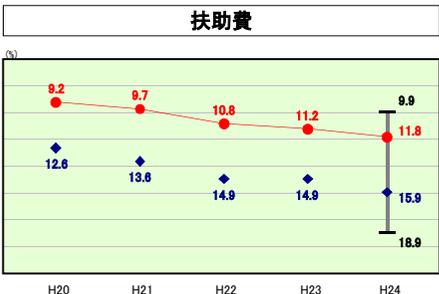
物件費の分析
 新規施設等管理運営費の増により、前年度に比べ比率が増加し、類似団体平均を上回っている。今後も引き続き経費の圧縮を図り、更なる比率の改善に努める。



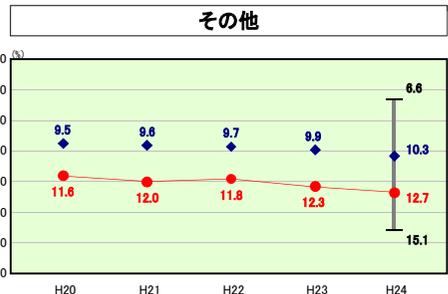
人件費の分析
 平成22年度から平成24年度までの新・定員配置計画に基づき、職員数の削減に努めたことなどにより、前年度に比べ比率は減少し、類似団体平均を下回っている。
 平成25年度からは前計画の未達成分を含めた2カ年(平成25年度から平成26年度)の計画を新たに策定し、引き続き行財政の効率化を進めながら、人員の適正化に努める。



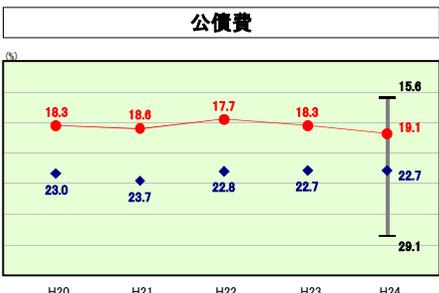
補助費等の分析
 企業会計に対する繰出金の増加により比率は増加し、類似団体と比較しても依然平均値を上回っている。引き続き各会計の経営状態を的確に把握し健全な運営に努める。また、各団体に対する補助金等についても適正な執行に努める。



扶助費の分析
 類似団体平均と比較すると比率は下回っているものの、生活保護費や私立保育園運営費などが増加傾向にあるため、今後も引き続き動向に注視する必要がある。



その他の分析
 介護保険事業会計、後期高齢者医療事業会計への繰出金の増加により比率が増加している。各会計の収支状態を的確に把握し引き続き健全な運営に努め、普通会計の負担額を減らしていくよう努める。



公債費の分析
 類似団体と比較すると比率は下回っているものの、合併建設計画に伴う合併特例債の発行などにより、公債費は増加する見込みであることから、その他の普通建設事業を縮小するなど、新規発行額を抑制し、公債費の上昇を抑えるよう努める。



公債費以外の分析
 類似団体と比較すると平均値を下回っているものの、今後の社会保障費の増加を見込むと比率の悪化が懸念されることから、行政サービスの水準を保ちながら事務事業の見直しなどにより、経費節減に努めていく。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成24年度

新潟県新潟市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	52,911,405	65,666	65,164	0.8
賃金(物件費)	2,644,383	3,282	1,404	133.8
一部事務組合負担金(補助費等)	488,900	607	66	819.7
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	610,737	758	1,595	▲52.5
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	31	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	807,287	1,002	1,862	▲46.2
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	922,198	1,144	1,245	▲8.1
▲退職金	▲6,323,823	▲7,848	▲6,856	14.5
合計	52,061,087	64,611	64,510	0.2

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	6.96	6.62	0.34
ラスパイレース指数	107.3	109.1	▲1.8

(注) 住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。(公債費及び普通建設事業費についても同様)

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

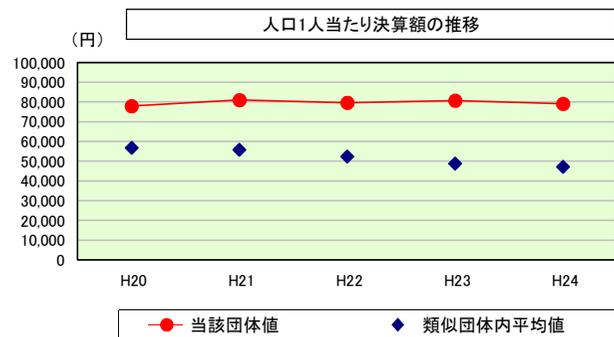


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	37,915,476	47,055	35,470	32.7
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	3,189	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	3,266,667	4,054	19,616	▲79.3
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	13,895,111	17,245	14,049	22.7
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	123,418	153	216	▲29.2
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	1,604,623	1,991	1,059	88.0
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	12	-
▲特定財源の額	▲6,962,178	▲8,640	▲16,358	▲47.2
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲29,860,274	▲37,058	▲34,839	6.4
合計	19,982,843	24,800	22,414	10.6

※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

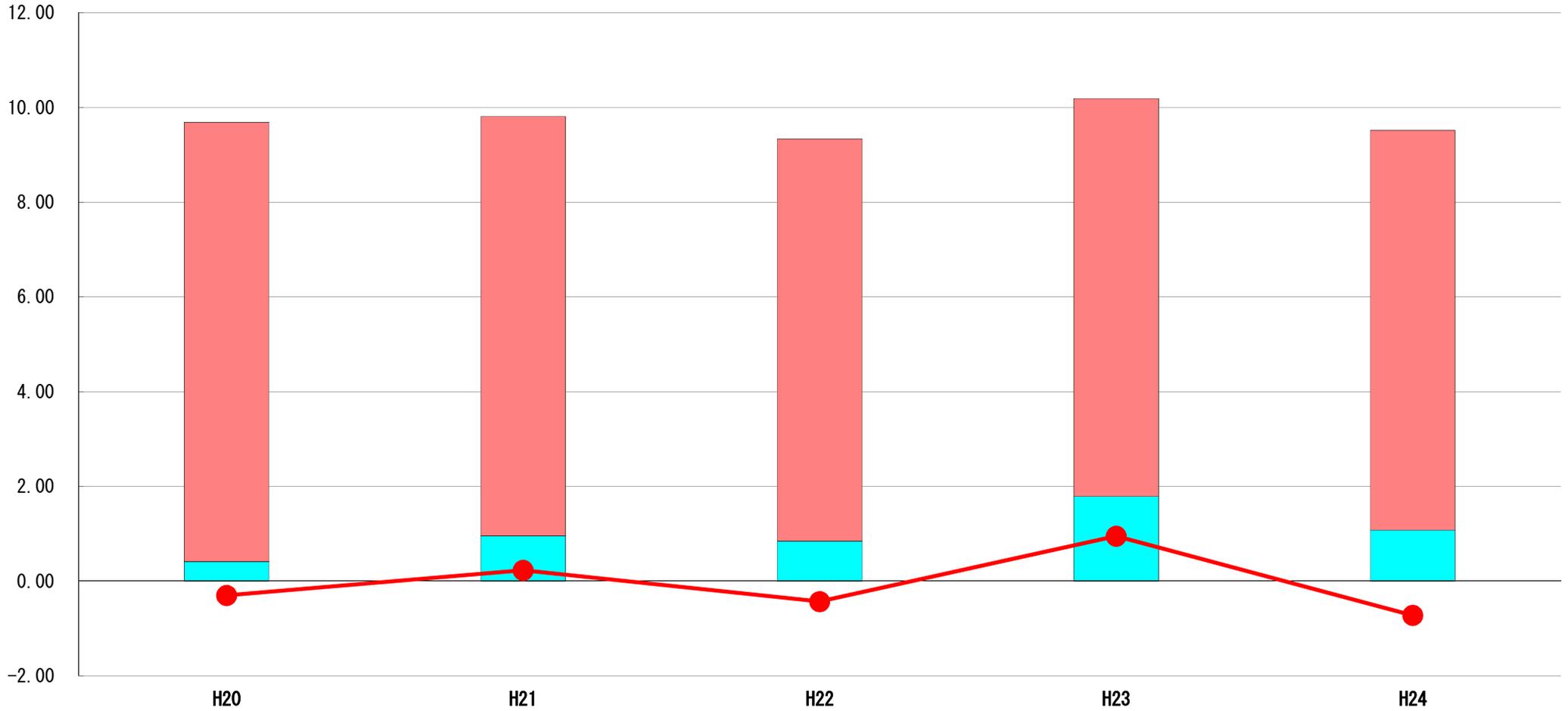
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H20	62,601,307	77,933	28.1	56,795	▲4.8	32.9
うち単独分	34,039,334	42,376	18.4	32,946	▲9.2	27.6
H21	65,079,466	81,003	3.9	55,769	▲1.8	5.7
うち単独分	34,309,655	42,704	0.8	31,551	▲4.2	5.0
H22	63,937,827	79,617	▲1.7	52,334	▲6.2	4.5
うち単独分	32,842,285	40,896	▲4.2	29,965	▲5.0	0.8
H23	64,784,505	80,700	1.4	48,794	▲6.8	8.2
うち単独分	28,548,770	35,562	▲13.0	25,698	▲14.2	1.2
H24	63,724,468	79,085	▲2.0	47,129	▲3.4	1.4
うち単独分	35,162,107	43,638	22.7	23,069	▲10.2	32.9
過去5年間平均	64,025,515	79,668	5.9	52,164	▲4.6	10.5
うち単独分	32,980,430	41,035	4.9	28,646	▲8.6	13.5

(5) 実質収支比率等に係る経年分析 (市町村)

平成24年度

新潟県新潟市

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

区分	年度	H20	H21	H22	H23	H24
 財政調整基金残高		9.27	8.85	8.49	8.40	8.44
 実質収支額		0.42	0.96	0.85	1.79	1.08
 実質単年度収支		▲ 0.30	0.23	▲ 0.43	0.95	▲ 0.72

分析欄

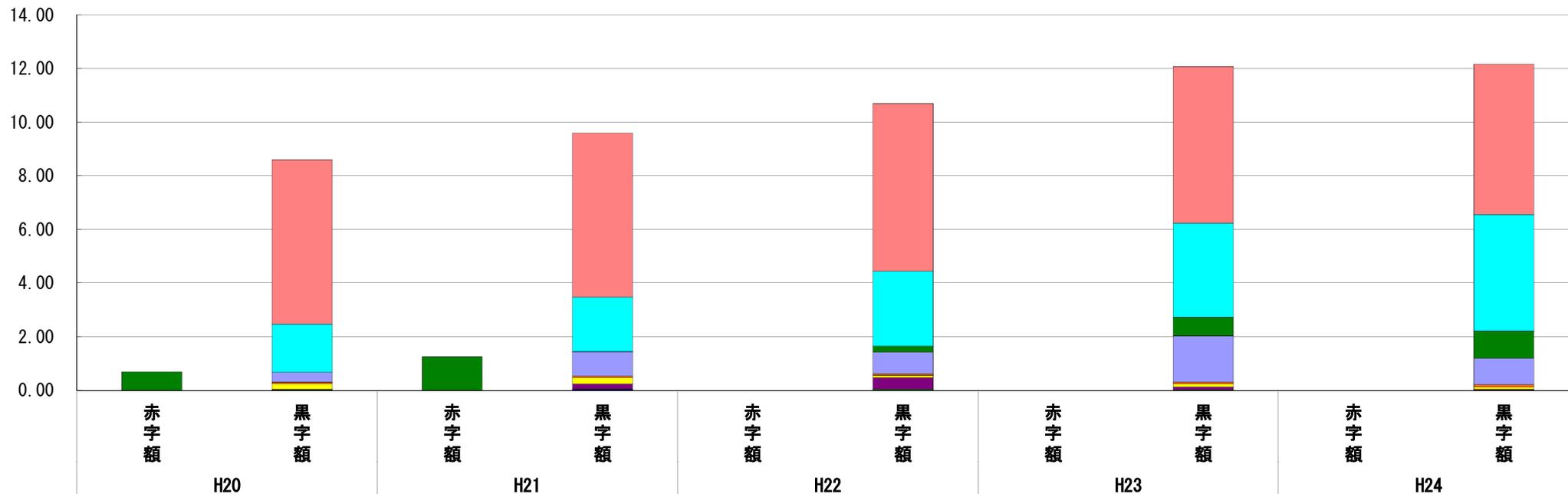
実質収支額については、前年度と比べ0.71%悪化しているが、例年並みの水準を維持している。
 標準財政規模について、23年度と比べ、標準税収入額の減少と、基準財政需要額の減少が基準財政収入額の減少を上回ったことによる普通交付税額及び臨時財政対策債の合算の減少により、標準財政規模は縮小している。
 財政調整基金については、前年度と大きく残高が変わらなかったため、標準財政規模比はほぼ横ばいとなっている。
 今後も引き続き積極的な行財政運営に努め、基金の取り崩しに配慮した財政運営を行っていく。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成24年度

新潟県新潟市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	H20	H21	H22	H23	H24
水道事業会計		6.13	6.12	6.26	5.84	5.61
病院事業会計		1.80	2.04	2.79	3.52	4.35
国民健康保険事業会計		▲ 0.69	▲ 1.25	0.23	0.69	1.01
一般会計		0.37	0.91	0.80	1.72	0.98
母子寡婦福祉資金貸付事業会計		0.05	0.05	0.06	0.07	0.10
介護保険事業会計		0.22	0.24	0.08	0.11	0.09
下水道事業会計		0.01	0.19	0.45	0.11	0.02
後期高齢者医療事業会計		0.02	0.02	0.02	0.02	0.01
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.00	0.03	0.01	0.00	0.00

分析欄

新潟市において、連結実質赤字比率は平成20年度決算に基づくもの以降ない。

ただし、平成20年度と平成21年度の国民健康保険事業会計において、実質収支比率が赤字となっている。これは一般医療費の増加、前期の高齢者交付金の減などにより生じた収支不足であり、平成22年度に赤字は解消されたものの今後も保険給付の増加が見込まれるなど厳しい財政状況が予想されることから、不能欠損額や収入未済額の削減などを図るなど、今できる健全な財政運営に努める。

また、黒字額の大きい水道事業会計をはじめとした公営企業会計においても、平成26年度予算から新会計基準に移行することや、今後も厳しい経営環境が予想される中、より一層の経営努力が必要となると思われる。

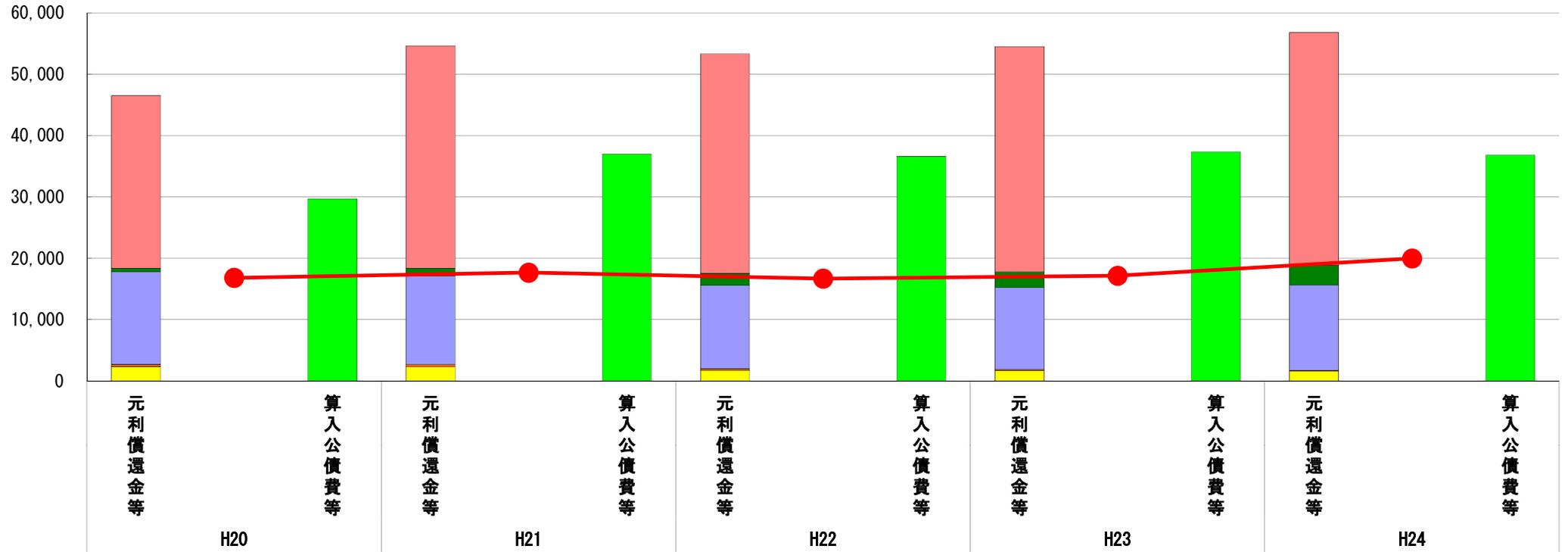
※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成24年度

新潟県新潟市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H20	H21	H22	H23	H24
元利償還金等(A)	元利償還金		28,112	36,263	35,774	36,711	37,915
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		600	1,293	1,967	2,600	3,267
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		15,062	14,408	13,583	13,312	13,895
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		407	384	242	168	123
	債務負担行為に基づく支出額		2,338	2,323	1,761	1,739	1,605
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等(B)	算入公債費等		29,700	37,012	36,636	37,372	36,823
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		16,819	17,659	16,691	17,158	19,982

分析欄

合併建設計画に伴う合併特例債などの発行により、元利償還金が増加することが見込まれることから、今後は新規発行額を抑制し、公債費の上昇を抑えるよう努める。

※平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

※平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

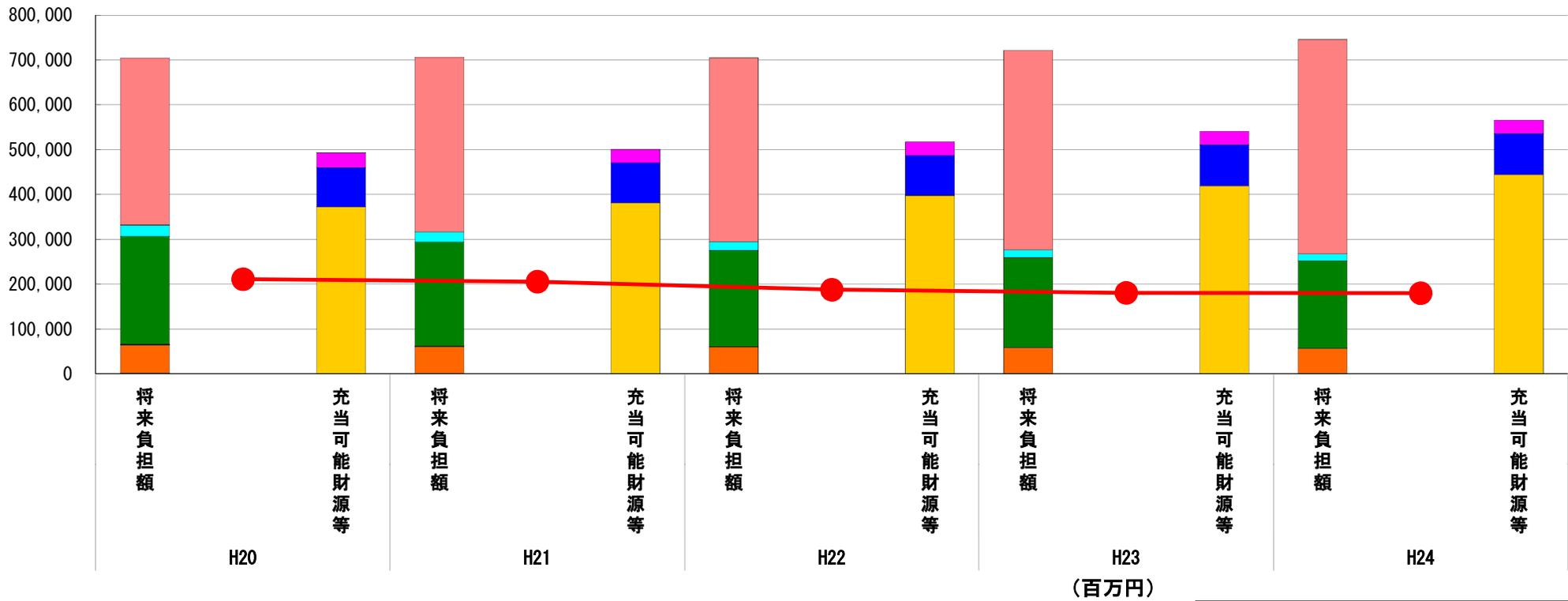
※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

（百万円）

平成24年度

新潟県新潟市



分子の構造		年度	H20	H21	H22	H23	H24
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		372,094	389,729	410,143	445,359	478,081
	債務負担行為に基づく支出予定額		25,742	22,947	20,175	17,285	15,426
	公営企業債等繰入見込額		241,091	231,921	213,963	200,290	195,466
	組合等負担等見込額		947	714	565	619	545
	退職手当負担見込額		62,433	60,634	59,918	57,768	56,073
	設立法人等の負債額等負担見込額		2,316	695	457	418	381
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		33,112	30,231	30,076	29,750	29,731
	充当可能特定歳入		88,059	88,821	89,546	91,803	91,721
	基準財政需要額算入見込額		372,331	381,927	398,008	419,560	444,646
(A) - (B)	将来負担比率の分子		211,121	205,661	187,592	180,628	179,875

分析欄

将来負担額においては、新潟駅周辺整備事業や福祉施設などの建設補助に対する債務負担行為に基づく支出予定額、職員数の削減に伴い退職手当負担見込額が減少しているものの、一般会計等に係る地方債の現在高が年々増加しているため、前年度と比べて増加している。

充当可能財源等については、基金の取り崩しなどにより、充当可能基金は減少傾向にあるが、基準財政需要額算入見込額においては臨時財政対策債償還費などの公債費等が増加している。

将来負担比率の分子は、減少傾向が続いているが、今後も引き続き適正な財政運営に努める。

※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。